

備えあれば憂いなし

未来を守る備えを

熊本県で発生した地震のニュースを見ながら、激しい揺れに耐え抜いた熊本城の姿が強く印象に残ります。(略)

松本盆地には日本列島を二分する糸魚川―静岡構造線断層帯が走っています。中でも牛伏寺断層周辺は、今後三十年以内に地震が発生する確率が全国で最も高いと言われ、明日にも大地震が起きてもおかしくない、極めて切迫した環境にあると聞きます。もし、熊本と同規模の内陸型地震が松本を襲えば、国宝松本城をはじめ、街並みや生活基盤に甚大な被害が出ることは間違いないでしょう。(略)

一方で、激震に見舞われながらも、ここまで被害を抑えられた背景には、平成二十八年の熊本地震の教訓を活かした建築物の耐震化や地域の避難態勢など、積み重ねてきた減災の知恵があったのではないのでしょうか。

(略) 同じように切迫したリスクを抱える松本盆地の一住民として、熊本の尊い経験に深く学びたいものです。今一度、自らと周りの防災環境を見直し、未来を守る備えにつなげていきたいと思います。

(朝日村西洗馬 古池季さん)

「八月八日付け市民タイムス 口差点より」

※太文字と波線は、桐原。

「今一度、自らと周りの防災環境を見直し、未来を守る備えにつなげていきたいと思います。」との思いは、全く同感です。西町町会では、これまで村田誠一副町会長(防災士)を講師にお迎えして11回の防災講座を開催してきました。その都度「知ることの大切さ、備えることの大切さ」身にしみて感じてきました。

9月6日(日)10時から11時まで西町公民館で

西町防災講座を開催します！

熊本地震の実相と松本平で同規模の地震が起こったときどうなるか、減災に向けた取り組みや備え等について村田さんにお話しいただき学び合いましょう。ぜひご都合をつけてご参加ください。